

インシデント・アクシデント・レポート提出のお願い

リスクマネジメント委員会

会員の皆様におかれましては、平素よりリスクマネジメント委員会の活動について、ご理解ご協力をいただき感謝いたします。

さて、会員の皆様にインシデント・アクシデント・レポート書式についてご案内いたします。

日常臨床における、ヒヤリ・ハットについては、開業、勤務を問わず、鍼灸師のほとんどがその事例を経験していることと思います。ただし、他の業種にも見られる傾向ですが、インシデント・アクシデント・レポートについては、患者の個人情報が増えるのではないかと、施術者自身が懲罰の対象になるのではないかなど理由から思うようにレポート収集が出来ないのが現状です。このレポートについては、患者名も必要ありませんし、始末書や施術者自身の懲罰対象になるものではありませんので、その旨ご理解ください。

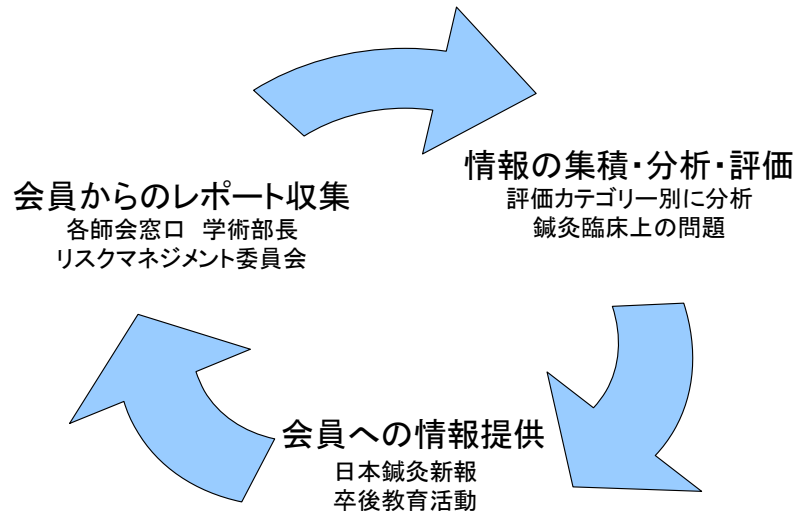
我々の鍼灸臨床現場においては、どのような状況下にもおいてもリスクは常に存在するもので、それらを完全に排除することは事実上不可能と思われます。しかしながら、リスクマネジメントの概念に基づき、日常臨床におけるヒヤリ・ハット及び事故における情報(インシデント・アクシデント・レポート)の収集、分析、評価を重ね、それらの情報を共有化することで、これらリスクを許容範囲まで減らすことが可能になると考えられます。その結果として、安心・安全・信頼の鍼灸医療を提供することも実現すると委員会では考えております。

会員の皆様におかれましては、この機会に、インシデント・アクシデント・レポートの作成及び提出にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、レポート用紙については、社団法人日本鍼灸師会ホームページよりダウンロードが出来ますので、ご自分でプリントアウトしてご利用ください。

最後に、リスクマネジメント委員会では、会員の皆様からの声を大切に、今後も関連事業を進めていきたいと思っております。ご意見ご要望がございましたら、リスクマネジメント委員会まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

インシデント・アクシデント・レポート



※医療事故等に関する情報については、集積・分析・評価・対策を講じる一連のシステムを構築し、これを広く組織全体に周知を図り、情報を共有することが必要。